

第27回消費者行動研究コンファレンス

プログラム

(統一論題)

「消費者行動研究の回顧と展望」

日時： 2003年11月8日(土)～11月9日(日)

場所： 研究会会場 学習院大学・目白キャンパス 西2号館

懇親会会場 桜ラウンジ(キャンパス内)

日本消費者行動研究学会

受付 9:30 ~

開会の辞 9:55 ~ 10:00

会長 江原 淳(専修大学)

JACS - SPSS論文プロポーザル賞 10:00 ~ 12:00

「時間制約が消費者の価格知覚に及ぼす影響」

鈴木拓也(早稲田大学大学院)

「テキストマイニングにおける情報力向上のアプローチ」

堀田武裕(明治学院大学大学院)

「ノスタルジア消費とテレビゲームの関係に関する実証研究」

水越康介(神戸大学大学院)

「信用財における知覚品質 - 価格関係の検討」

劉 寧(学習院大学大学院)

昼食(役員会) 東2号館13F 第3会議室 12:00 ~ 13:00

JACS - SPSS論文プロポーザル賞 13:00 ~ 14:00

「発信する顧客は優良顧客か？」

- サイトの訪問動機とオンライン・ショップの購買履歴データの分析 - 」

山本 晶(東京大学大学院)

「ウェブサーベイにおける回答行動: いいかげんな回答」

李 相吉((株)インテージ)

長崎貴裕((株)インテージ・インタラクティブ)

休憩 14:00 ~ 14:30

統一論題テーマ提起 14:30 ~ 14:45

「消費者行動研究の回顧と展望」

青木幸弘(学習院大学)

統一論題研究報告 14:45 ~ 18:00

「確率的消費者行動モデルの展望と課題」

中西正雄(関西学院大学)

「消費者行動研究の方法論的視座」

阿部周造(横浜国立大学)

「広告と消費者行動 説得か、対話か(仮題)」

岸志津江(東京経済大学)

「消費者行動の研究と心理学」

杉本徹雄(上智大学)

「消費者行動の新展開とマーケティング戦略課題：ネット・コミュニティの登場」

池尾恭一(慶應義塾大学)

懇親会 18:30 ~

受付 10:00～

自由論題研究報告 10:30～12:00

[第一会場]

「消費者の予備知識水準が広告の情報処理の深さに及ぼす影響」
諸上茂光(筑波大学)

「データマイニングによるファッションブランドの認知構造分析」
小野田哲弥(慶応義塾大学大学院)
中野友香(慶應義塾大学総合政策学部)

「消費者市場におけるリレーションシップ構築のメカニズム」
井上敦子(早稲田大学大学院)

[第二会場]

「広告の残存効果を考慮したマーケティング・ミックスモデル
(ビール&発泡酒におけるケーススタディ)」
鈴木奈都子(東急エージェンシー)
益田 一(アサツー ディ・ケイ)

「「景気」意識の形成についてのテキストマイニングによる検証」
黒岩祥太((株)現代文化研究所)

「交通広告の視認性が購買意図に及ぼす効果:車内広告の場合」
須貝育宏(上智大学大学院)
杉本徹雄(上智大学)
梅津充幸(ジェイアール東日本企画)
宮園真理(東急エージェンシー)
菊池正和(帝都高速度交通営団)

昼食 12:00 ~ 13:00

会員総会 13:00 ~ 13:30

シンポジウム 13:30 ~ 15:30

「消費者行動研究の回顧と展望」

司会	青木幸弘(学習院大学)
パネラー	中西正雄(関西学院大学)
	和田充夫(慶応義塾大学)
	岸志津江(東京経済大学)

閉会の辞 15:30 ~ 15:35

副会長 青木幸弘(学習院大学)

〔 学習院大学・目白キャンパス案内図 〕

学習院大学・目白キャンパスへのアクセスについては学習院大学のホームページをご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp>



JACS